

長野県松本家畜保健衛生所  
〒390-0851 松本市島内西川原 6931  
TEL:0263-47-3223 FAX:0263-47-0101  
E-mail:matsukachiku@pref.nagano.lg.jp  
中信家畜畜産物衛生指導協会  
TEL:0263-47-6789

# かほだより

## 放牧の季節がやってくる！準備はお早めに！

今年も放牧の季節が近づいてきました。放牧利用は、飼料コスト削減、飼養管理の省力化、繁殖性や耐久性の向上など畜産酪農経営で大きなメリットが期待できます。ただ、舎飼いから環境が大きく変わる放牧地へ、牛をスムーズに入牧させるには、**事前の準備（放牧馴致、予防接種・各種検査、治療）が重要**です！

### 放牧馴致とは？

：飼料変化や気象環境へ馴らす

#### ① 飼料の馴致：

- ・放牧前に青草給与！
- ・濃厚飼料は体重の1%以内にする。
- ・2週間前からは粗飼料のみの給与。
- ・ビタミンE補給でストレス軽減効果。



#### ② 気象環境の馴致：

- ・運動場等で放飼、外気に触れさせる。

#### ③ 群飼、電柵等への馴致

- ・複数頭での飼養、ワイヤー等に馴らす。

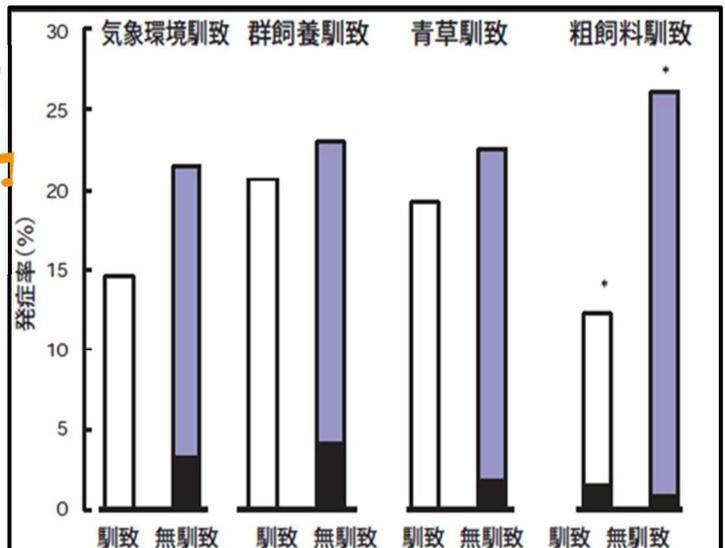


図1. 放牧馴致の形態別に比較した放牧期間中の呼吸器病等による治療率  
黒塗り部は死亡および途中退牧した牛の発生率  
\*：同一馴致分類内の同符号間で有意差有り(P<0.05)

農研機構 研究トピック 放牧管理部 仮屋喜弘氏  
「放牧馴致は呼吸器病などの病気予防に有効」より



馴致をした牛は、しなかった牛よりも呼吸器病や消化器病の発症率が低い！  
死亡や途中退牧も少ない！

### 予防接種

：入牧2週間前までには接種を。

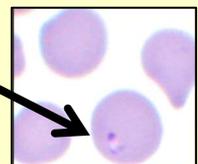
- ・IBR5種又は6種混合など（生ワクチンは妊娠牛には使えません！）

### 各種疾病検査

：入牧要件で必要な検査は確実に。

- ・牛伝染性リンパ腫（EBL）、牛ウイルス性下痢（BVD）は検査料補助あり
- ・牛小型ピロプラズマ症は血液塗抹で赤血球内の原虫を確認します。

注意：牛の状態が良いと、赤血球内に原虫が確認されない場合もあります



### 治療等

：皮膚病、下痢症等は入牧前に治療を。

- ・削蹄・除角・去勢等は余裕をもって済ませ、しっかり発育させておく！

## 牛小型ピロプラズマ症の発症予防にも放牧馴致が重要！

### 牛小型ピロプラズマ症とは？

- 牛の赤血球に原虫が寄生して起きる病気。
- 原虫はマダニによって、牛から牛へ感染する。
- 主な症状は発熱、貧血、黄疸、重度寄生で流産、死亡することもある。
- ストレス状態（飼養環境の変化、妊娠・分娩、慢性疾病等の重複感染）と原虫感染が一致すると、症状悪化しやすい  
(入牧時期はマダニの発生ピークと重なり、馴致不足では症状悪化し易い)



管内放牧地の入牧前の  
牧野調査で  
マダニの生息が  
確認されています



### 小型ピロプラズマ 感染

- ・マダニ発生のピーク  
春～初夏：

### 放牧ショック

- ・放牧馴致不足による  
体重減少
- ・飼養環境変化に伴う  
ストレス

＝ 症状悪化

対策は？

マダニのコントロール  
(寄生するマダニの数を減らす！)

- ・ダニ駆除剤（フルトリン製剤等）の定期塗布
- ・野生動物対策、草刈り等

！重要！  
放牧地でも健康に過ごせる  
牛にする！

- ・入牧前の放牧馴致の徹底
- ・適切な飼養管理

## 定期報告の提出をお願いします

定期報告を既に提出して頂いた皆様、ありがとうございました。

提出期限 2月28日が過ぎていきますので、

未提出の方は、必要事項を記入の上、早めの提出をお願いします

家畜飼養者は、毎年2月1日現在の飼養頭羽数、衛生管理状況等を  
都道府県知事に毎年報告する事が、家畜伝染病予防法第12条の4の  
規定により義務付けられています。

